

平成24年度 ごみ減量・もったいないねット山形 総会

日時：平成24年5月30日（水）

午後1時30分～午後4時

会場：山形市役所11階大会議室



（ごみ減量すすむくん・かなえちゃん“かるた”から）

次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 議長選出
- 5 議 事
 - 第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算報告について
監査報告
 - 第2号議案 平成24年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - 第3号議案 役員改選について
- 6 情報交換

テーマ：「震災復興から見た、自動車リサイクルについて」
～震災から1年、活きた！環境の取り組み～

講 師：NPO法人山形県自動車公益センター[本会会員]
専務理事 すがわら ひろき 菅原 弘紀さん
- 7 閉 会

平成 23 年度役員

(平成 22 年 5 月 30 日選任)

会 長	副会長	幹 事	監 事
菅 野 節 子	長 瀬 洋 子 熊 谷 信 一	金 澤 和 子 齋 藤 淳 鈴 木 隆 男 中 村 明 千 村 中 秀 郎	渡 辺 明 鈴 木 四季子

会員数

時点	個 人	団体	事業者	計
設立総会時	3 5 人	1 4 団体	1 3 事業者	6 2
H23. 4. 30	2 3 3 人	3 0 団体	1 4 1 事業者	4 0 4
H24. 4. 30	2 9 2 人	3 5 団体	1 4 9 事業者	4 7 6

平成 23 年度部会体制

部 会	部会長	副部会長
買い物エコフレンド部会	中 村 明 千	田 苗 重 樹 早 坂 恵美子
5 R 情 報 発 信 部 会	鈴 木 隆 男	上 野 清 子 酒 井 清 和 矢 口 政 則
ごみ減量学 習 部 会	齋 藤 淳	佐 藤 弘 子 長 岡 貴 道
広 報 部 会	村 中 秀 郎	伊 藤 美代子 荒 井 安 男
ごみ減量推進アドバイザー 部会	金 澤 和 子	鹿 野 順 子 齋 藤 正 凱

平成23年度事業報告（案）

1 総会・役員会

項 目	区分	開 催 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議，情報交換「地球環境に配慮した製品で一緒に eco」
第1回役員会		4月22日	総会議案の協議，総会，情報交換会の進め方について
第2回役員会		5月30日	部会長の選任及び部会の進め方等について
第3回役員会	拡大	8月 8日	各部会体制及び部会活動計画について
第4回役員会		11月29日	会全般及び部会活動の進捗状況について
第5回役員会	拡大	1月24日	平成23年度予算執行状況及び見込み，新年度事業について
第6回役員会		3月21日	平成24年度事業計画（案）及び予算（案）について



(総会)



(役員会)

2 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
東日本大震災復興義援金協力[総会開催時]	5月30日	総会開催時，役員・会員・事務局が協力 日本赤十字社山形県支部へ 17,467円
やまがた環境展2011参加 [山形国際交流プラザ]	10月29日 ～30日	主催：やまがた環境展2011実行委員会，ブース出展 パネル展示，ワークショップ，分別クイズ実施
ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた贈呈式 [みどりのもり保育園(本会会員)]	1月13日	イオンリテール(株)東北カンパニー様[本会会員]，山形環境保全協同組合様[本会会員]より作製・寄贈いただいたかるたを市内の保育園他，子育て施設等に配布
広報やまがた掲載 (山形市発行)	10月 1日 2月 1日	特集記事 ごみ減量推進アドバイザー派遣事業紹介 特集記事 ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介
第3回ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた大会 [市総合スポーツセンター武道場]	2月18日	主催：山形中央ライオンズクラブ[本会会員]，山形センチュリーライオンズクラブ 共催：本会，NPO法人まちづくり山形 後援：山形市，山形市教育委員会
第4回やまがた市民活動まつり参加 [霞城セントラル1階]	2月26日	ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介，分別クイズ 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会[本会会員] 共催：山形市，市民活動支援センター[本会会員]
ラジオ広報出演	毎週水曜	山形コミュニティー放送「ラジオモンスター」市環境部番組枠「山形エコシティー」に各部会で出演，計11回
月刊ほいづん掲載	4月～毎月	連載記事 ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介



（“ごみ減量すすむくん，かなえちゃんかるた”贈呈式）



（やまがた環境展2011出展）

3 各事業部会

部会ごとにスタッフが主体となり、企画・準備から各事業実施までを行った。

(1) 買い物エコフレンド部会 企画会議：5回

店頭回収の取組みや簡易包装の推進について、消費者・事業者・行政が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指した。
スーパー及び百貨店において、雑がみリサイクル・食品トレーリサイクル・簡易包装推進を呼びかけるため各種キャンペーンを実施した。

項 目	期 日	摘 要
① ごみ減量ロビー展へ参加	5月29日 ～ 6月3日	主催：山形市 会場：山形市役所1階エントランスホール
② 雑がみリサイクルキャンペーン	6月21日 ～ 7月20日	事業者・山消連・山形市との連携 大沼、ヤマザリ、イオン北店、マックスバリュ、 おーばん、ヨークベニマル、生協、びつくり市 計8回
③ 食品トレーリサイクルキャンペーン	10月22日 ～ 28日	食品トレー、透明容器の店頭回収利用 呼びかけ ヤマザリ、ヨークベニマル、ショッピングセンター吉田、 マックスバリュ、おーばん 計5回
④ 簡易包装推進キャンペーン	12月1日 ～ 3日	簡易包装利用呼びかけ ヤマザリ、生協、マックスバリュ 計3回
⑤ ごみ減量・資源化に向けた 会議への参加	6月9日 11月8日 3月15日	スーパー、百貨店、市民団体・山形市 による情報交換会 計3回

【延べ 51名スタッフ協力】



(企画会議, (株)エフピコ寒河江選別工場見学)



(雑がみリサイクルキャンペーン,
ヨークベニマル大野目店)



(食品トレーリサイクルキャンペーン,
マックスバリュ山形駅西口店)



(簡易包装キャンペーン, 生協城西店)

(2) 5R 情報発信部会 企画会議：4 回

会員拡大のため、入会案内パンフレットをリニューアル作成した。
さらに、主に事業系ごみの減量を目的に、再資源化等に取り組む事業者会員の情報を掲載した「もったいないリーフレット」を作成した。作成にあたり、スタッフ自ら取材を行い、取材を通し、事業者会員の拡大が図られた。
(総会時 141 事業者→平成 24 年 4 月現在、149 事業者に拡大)

項 目	期 日	摘 要
①入会案内パンフレット作成	7 月	デザイン：山形デザイン専門学校[本会会員] 2,000 部作成、やまがた環境展 2011、やまがた市民活動まつり、学習会等参加者、公民館、会員スーパー等で配布
②「もったいないリーフレット」作成	7 月～3 月	事業系のごみ減量等を目的にもったいないリーフレットを作成。4,000 部作成
③リーフレット取材	1 月 16 日 ～20 日	リーフレット作成に向けた訪問取材（5 日間）
④リーフレット、配布・活用	3 月～	情報誌 10 号への折込み、他大規模事業所、商工会議所・青年会議所等へ配布

【延べ 38 名スタッフ協力】



(企画会議)



(取材風景)



(取材風景)

(入会案内パンフレット)



(もったいないリーフレット)



(3) ごみ減量学習部会 企画会議：5回

ごみ処理の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、地域や職場等においてごみ減量等の取組みを広めるため、学習会を実施した。多くのマスメディアにも取上げられ、充実した学習会となった。多数の参加があり、個人会員の獲得が図られた。新規入会会員数23人

項 目	期 日	摘 要
①ごみ減量学習会	6月28日	参加者数：90名 「ダンボール式コンポスト学習会」
	6月29日	参加者数：51名 「EMボカシ容器学習会」
②リサイクルツアー	10月 3日	参加者数：68人 (株)山形県自動車販売店リサイクルセンター、立谷川リサイクルセンター
③リサイクル体験教室	12月 7日	参加者数：46人 「エコクッキング教室①」 講師：食生活改善推進協議会（本会会員） 会長 大場 州子氏 ほか
	12月16日	参加者数：46人 「エコクッキング教室②」 講師： 同上

【延べ 83名スタッフ協力】



(ダンボール式コンポスト学習会)



(リサイクルツアー，(株)山形県自動車リサイクルセンター東日本大震災被災車両の様子)



(旬の食材をまるごと使った「エコクッキング教室」，食生活改善推進協議会連携事業)



(4) 広報部会 企画会議：4回

会や会員の活動情報やごみ減量等の情報を発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めるため、ホームページの更新や情報誌を発行した。さらに、ペットボトルのキャップを集める取組みを各家庭で進めるためのツールとして、リニューアル版エコキャップBOXを作製した。

項 目	期 日	摘 要
①ホームページ運営	通 年	更新作業：9回，70件
②情報誌の発行	11月・3月	[作業部会2回開催] 第9・10号（各6ページ，3,000部） 会員，会員スーパー等窓口に配布設置
③パートナーキャラクター ネーミングコンテスト	7月～9月 11月	キャラクターデザイン：山形デザイン専門学校[本会会員] 市内の小学生から1,220点の応募 選考会の結果，最優秀賞を含む4点及び学校賞14校に対し表彰
④リニューアル版エコキャ ップBOX作製（2種類）	5月～11月 3月	NPO法人まちづくり山形[本会会員]との 連携（山形市コミュニティファンド活用事業） モニタリング調査結果を基に計8,000個作製
⑤エコキャップBOXスポ ンサー作成申出		回収箱を設置する企業3社から協力申出が あった[山形銀行，ネットヨタ，トヨタカ ローラ山形]，作製～平成24年5月～
⑥ごみ減量すすむくん・か なえちゃんかるた作製・配 付	1月	イオンリテール㈱東北カンパニー様[本会会員]，山形環境 保全協同組合様[本会会員]より計900セット作製寄贈 配布先：保育園，プレゼント企画当選者等
⑦各種取材	9月6日 10月3日 12月16日	各部会事業企画に参加し取材 リサイクルツアー（ごみ減量学習部会） リサイクル工場見学（買い物エコフレンド部会） エコクッキング教室（ごみ減量学習部会）

【延べ 52名スタッフ協力】

(パートナーキャラクターネーミングコンテスト
表彰式)



(企画会議)



表彰式)



(情報紙第9号，10号)



(リニューアルエコキャップBOX2タイプ)

(5) ごみ減量推進アドバイザー部会 企画会議：4回

ごみの減量や資源の再利用の必要性や実践方法を広めるための講師「ごみ減量推進アドバイザー」を登録し、地域や公民館での学習会に派遣した。

項 目	開 催 日 [主 催 等]	参加 者数	摘 要
① アドバイザー募集	4 月		
② アドバイザー派遣 制度の周知	通年		広報やまがた特集記事掲載, 他チラシ 配布等
③ スキルアップ研 修会	8 月 8 日		アドバイザー登録のための研修会 内容：山形市のごみの現状, ごみの分 け方, 出し方, ごみ減量の方法等
④ 登録証交付	9 月 9 日		新規登録2人(22年度登録8人) 登録合計18人
⑤ アドバイザー派遣 [参加者合計555人]	6 月 7 日 (火) [東部児童館]	43 名	少年教育事業 「エコバッグ作り」
	7 月 6 日 (水) [中央公民館]	45 名	ねんりん倶楽部講習会 「生活一般に関する節約術」
	7 月 13 日 (水) [チェリア de カフェ実行委員会]	19 名	チェリア de カフェ 「ちょっと素敵な文房具」
	7 月 16 日 (土) [イオン山形北チアーズクラブ]	28 名	チアーズクラブエコ活動 「エコバッグ作り」
	7 月 23 日 (土) [エコいけばな夏休み講座実行委員会]	13 名	エコいけばな夏休み講座 「レリーフ作り」
	7 月 28 日 (木) [千歳コミュニティセンター]	12 名	夏休みリサイクル工作教室 「リング飛行機づくり」
	8 月 17 日 (木) [樺沢コミュニティセンター]	20 名	夏休み親子体験教室 「マイはし作り」
	8 月 31 日 (木) [東北芸工大実行委員会]	19 名	山寺祈りの芸術際「花と土と」 エコいけばな
	9 月 14 日 (水) [金井幼稚園父母の会]	250 名	父母の会講演会 「トレイと雑がみの分別・生活一般の節約術」
	10 月 16 日 (日) [チェリアフェスティバル実行委員会]	30 名	チェリアフェスティバル 「ワンコインでエコいけばな体験」
	10 月 26 日 (水) [山大学生課]	26 名	留学生対象日本文化論 「エコいけばな」
	11 月 11 日 (金) [東部公民館]	9 名	環境講座 「自転車で快適エコライフ」
	11 月 30 日 (水) [緑町藤森自治会]	24 名	ごみ減量研修会「日常生活の中のごみ減 量・ムダのない食材の使い方」
	1 月 16 日 (月) [食生活改善推進協議会千歳地区]	17 名	エコクッキング研修会 「カレーパン・おからサラダ・桜おはぎ等」
⑥ もったいない アカデミー	2 月 10 日 (金) [山形市・アドバイザー部会共催]	42 名	第1回「風呂敷の便利な使い方・ 電化製品で簡単エコクッキング」
	2 月 22 日 (水) [山形市・アドバイザー部会共催]	44 名	第2回 「身近な文房具からエコを進めよう」

【延べ 32名スタッフ協力】



(企画会議)



(委嘱状交付式)



(エコいけばな)



(オリジナルマイはし作り)



(環境にやさしい文具の歴史)



(日常生活の節約術)



(もったいないアカデミー)



(オリジナルマイバッグ作り)

平成 2 3 年度収支決算報告

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,500,000	1,500,000	0	
	山形市補助金	1,500,000	1,500,000	0	山形市より
その他収入		60,000	65,672	△ 5,672	
	繰越金	29,546	29,546	0	
	その他収入	30,454	36,126	△ 5,672	学習会参加費 利息
合 計		1,560,000	1,565,672	△ 5,672	

支出の部

(単位:円)

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		290,000	310,143	△ 20,143	
	会議費	110,000	130,539	△ 20,539	総会・役員会資料印刷費
	事務費	90,000	103,224	△13,224	事務用品, OA機器リース料
	通信費	90,000	76,380	13,620	送付料
事業費		1,265,000	1,229,809	35,191	
	広報事業費(広報部会)	480,000	477,977	2,023	情報誌発行, HP管理費
	実践活動事業費	785,000	751,832	33,168	
	(買い物エコフレンド部会)	30,000	29,953	47	キャンペーン用備品等購入(イーゼル, 風呂敷)
	(5R情報発信部会)	60,000	136,558	△ 76,558	入会案内パンフレット作成, もったいないリーフレット作成
	(ごみ減量学習部会)	150,000	166,754	△ 16,754	講師謝礼, 食材費, 資料印刷費等
	(ごみ減量推進アドバイザー部会)	200,000	124,957	75,043	アドバイザー謝礼, 資料印刷費等
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	345,000	293,610	51,390	エコキャップBOX作製, かるた大会参加賞
予備費		5,000	0	5,000	
合 計		1,560,000	1,539,952	20,048	

収入金額 1,565,672 円
 支出金額 1,539,952 円
 差引金額 25,720 円(平成24年度に繰り越し)

監 査 結 果 報 告 書

平成23年度ごみ減量・もったいないねット山形の収支決算について、関係帳簿、預金通帳等を監査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されておりましたので報告します。

ごみ減量・もったいないねット山形
会 長 菅 野 節 子 様

平成24年 4月 10日

ごみ減量・もったいないねット山形

監 事

渡辺 明



監 事

鈴木四季子



平成24年度事業計画（案）

1 運営方針

- ◎ 5つのR（リフューズ〔Refuse：辞退〕，リデュース〔Reduce：発生抑制〕，リユース〔Reuse：再使用〕，リペア〔Repair：修理〕，リサイクル〔Recycle：再生利用〕）を推進する取り組みを市内全域に広めます
- ◎ 会や会員の情報を発信・共有し，会員や活動の輪を広げます
- ◎ 「もったいない」という共通の認識のもとに，会員の声を聞き，開かれた運営を行います

2 総会・役員会

項 目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議，情報交換
第1回役員会		4月18日	総会議案の協議，総会の進め方について
第2回役員会		5月30日	部会長の選任及び部会の進め方について
第3回役員会	拡大	8月	部会活動について
第4回役員会		11月	会全般及び部会活動について
第5回役員会	拡大	1月	平成24年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第6回役員会		3月	平成25年度の事業計画及び総会の進め方について

3 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
やまがた環境展2012参加	10月27日 ～28日	会場：山形国際交流プラザ 主催：やまがた環境展2012実行委員会 「環境活動・啓発・体験ゾーン」にブース出展 パネル展示，ワークショップ，分別クイズ実施
第4回ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた大会	2月	かるた大会 会場：市総合スポーツセンター武道場 主催：山形中央ライオンズクラブ，山形センチュリーライオンズクラブ 共催：本会，NPO法人まちづくり山形 後援：山形市，山形市教育委員会
第5回やまがた市民活動まつり参加	2月	ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介 会場：霞城セントラル1階アトリウム 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 共催：山形市，山形市市民活動支援センター
広報やまがた掲載 (山形市発行)	随 時	特集記事 会の活動紹介，アドバイザー派遣事業紹介

4 各事業部会

(1) 買い物エコフレンド部会

店頭回収の取組み拡大や簡易包装の推進など、事業者と消費者が連携して取り組める行動の情報を共有します。また、マイバッグ持参・店頭回収利用の拡大・定着の取組み等を通し、消費者・事業者・行政という皆が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指します。

項 目	期 日	摘 要
① ごみ減量ロビー展への参加	5月～6月	主催：山形市 会場：山形市役所エントランスホール 内容：ごみ減量・もったいないねット 山形活動紹介、雑がみ・食品トレーリ サイクルキャンペーン
② 食品トレーリサイクルキャンペーン	6月	スーパー
③ 店頭回収・簡易包装取組み 店舗調査	8月～9月	スーパー・百貨店
④ 雑がみリサイクル・簡易包装 推進キャンペーン	10月	スーパー・百貨店
⑤ 店頭キャンペーン等，告知・啓発ツール製作・配布	12月	店内放送用ツールの製作 スーパー・百貨店
⑥ ごみ減量・資源化に向けた 会議への参加	年3回	スーパー・百貨店・市民団体・山形市民 による情報交換会

(2) 5R 情報発信部会

市域における事業者・団体等のごみ減量や資源の再利用の取組みについて、情報を収集・発信し、市民及び事業者のごみ減量等の取組み拡大を目指すとともに、会員の拡大を図ります。

項 目	期 日	摘 要
① 会員入会案内パンフレット作成	5月	平成23年度に作成した，パンフレットの増刷 3,000部 ※作成済，第1回役員会承認(H24.4.18)
② 各種団体等の情報収集	6月～	対象：市内の事業者，各種団体，NPO等
③ ホームページによる情報 発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
④ もったいないマップ Ver. 3 発行	6月～10月	主に事業者のごみ減量を目的とした，ツール として作成 4,000部

(3) ごみ減量学習部会

ごみ処理の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、地域や職場等においてごみ減量等の取組を実践します。

項 目	期 日	摘 要
① ごみ減量学習会	6月25日 (午後開催) 7月13日 (午後開催)	①落葉と生ごみを利用した堆肥づくり 講師：仙台生ごみリサイクルネットワーク ②コンポストの活用術 講師：仙台生ごみリサイクルネットワーク
② リサイクルツアー	10月16日	(株)エフピコ寒河江選別工場、東根広域リサイクル施設クリーンピア共立見学
③ リサイクル体験教室	12月4日 12月6日 (同じ献立)	「エコクッキング教室」 講師：本会アドバイザー部会との連携事業

(4) 広報部会

ホームページや情報誌を通して、会や会員の活動情報やごみ減量等の情報の発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めます。

項 目	期 日	摘 要
① ホームページ更新	随 時	
② 情報誌の発行	11月、3月	第11号、第12号 各3,000部
③ ごみ減量等啓発グッズ作製・配布	6月～10月	ごみ減量すすむくん・かなえちゃんぬりえの作製 他団体との連携
④ 会員（募集）ポスター作成	6月～10月	山形デザイン専門学校[本会会員]との産学連携 200枚
⑤ 各種取材	随 時	各事業に参加し取材を行う

(5) ごみ減量アドバイザー部会

ごみの減量や資源の再利用の必要性や実践方法を会員自らが学び、地域や学校等においてごみ減量の取組みを広めます。

項 目	期 日	摘 要
① アドバイザー派遣制度周知	随 時	チラシ、広報やまがた等
② アドバイザー派遣	随 時	地域、学校等
③ 新規アドバイザー募集	6月	
④ スキルアップ研修会	7月	アドバイザー登録のための研修会 内容：山形市のごみの現状、減量方法等
⑤ アドバイザー登録証交付	7月	
⑥ もったいないアカデミー開催	1月～2月	山形市と共催、2回実施

平成 2 4 年度収支予算

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収 入 の 部

科 目		予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,500,000	1,500,000	0	
	山形市補助金	1,500,000	1,500,000	0	山形市より
その他収入		61,000	60,000	1,000	
	繰越金	25,720	29,546	△ 3,826	
	その他収入	35,280	30,454	4,826	学習会参加費, 貯金利子
合 計		1,561,000	1,560,000	1,000	

支 出 の 部

科 目		予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		296,000	290,000	6,000	
	会議費	130,000	110,000	20,000	資料印刷費
	事務費	90,000	90,000	0	事務用品, OA機器リース料
	通信費	76,000	90,000	△ 14,000	資料等送付費
事業費		1,260,000	1,265,000	△ 5,000	
	広報事業費(広報部会)	480,000	480,000	0	HP管理費, 情報誌発行
	実践活動事業費	780,000	785,000	△ 5,000	
	(買い物エコフレンド部会)	50,000	30,000	20,000	食品トレー等リサイクルキャンペーン
	(5R情報発信部会)	210,000	60,000	150,000	もったいないマップVer.3作製
	(ごみ減量学習部会)	195,000	150,000	45,000	ごみ減量学習会, リサイクルツアー, エコクッキング教室
	(ごみ減量アドバイザー部会)	170,000	200,000	△ 30,000	アドバイザーの派遣, もったいないアカデミーの開催
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	155,000	345,000	△ 190,000	すすむくん・かなえちゃんぬりえ等作製, かるた大会参加賞代
予備費		5,000	5,000	0	
合 計		1,561,000	1,560,000	1,000	

第3号議案

役員改選について
(任期：平成24年度総会～平成26年度総会)

新役員	
役職名	氏 名
会 長 (1人)	
副会長 (若干名)	
幹 事 (10人以内)	
監 事 (2人)	

ごみ減量・もったいないねット山形 規約

(名称)

第1条 この会は、「ごみ減量・もったいないねット山形」(以下「会」という。)という。

(目的)

第2条 この会は、市民、事業者、行政が、山形市域におけるごみの減量及び資源の再利用(以下「ごみ減量等」という。)を推進するために、共に考え、実践し、相互に協力・連携を図り、循環型社会の形成をめざす。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) ごみ減量等のための情報発信
- (2) ごみ減量等のための実践活動
- (3) その他、この会の目的を達成するための必要な事業

(会員)

第4条 この会の会員は、市民、市民団体、事業者、事業者団体及び山形市で構成する。

(入会・退会)

第5条 入会しようとする者は、入会申込書を提出することとする。

- 2 退会するときは、退会届を提出することとする。

(役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 幹事 10人以内
- (4) 監事 2人

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において会員のうちから選任する。

- 2 副会長のうち、1人は山形市のごみ減量を所管する部長が務める。
- 3 前条にあげる役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第8条 会長は、この会を代表し、業務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 幹事は、会長の指示により、会務を処理する。
- 4 監事は、会計を監査し、その結果を会に報告する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(アドバイザー)

第10条 この会に、アドバイザーを置くことができる。

- 2 アドバイザーは、必要に応じ会長が依頼する。

(総会)

第11条 総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

2 総会の議長は、総会出席会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第12条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催することができない。

ただし、委任状を提出した者は出席者とみなす。

(経費)

第13条 この会の経費は、市の補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 会は、事業年度開始の日から総会の日までの本会予算について、前年度の収支予算に準じて執行することができる。

(議決事項)

第15条 総会は、次の事項を議決する。

(1) 規約の変更

(2) 事業計画および収支予算

(3) 事業報告および収支決算

(4) その他、この会の運営に関する重要な事項

(議決)

第16条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(役員会)

第17条 役員会は、会長、副会長、及び幹事をもって構成し、必要に応じ会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長とする。

3 役員会は、総会に付議する事項、会の運営に関する事項等を審議する。

4 役員会は、その他会長が必要と認めた事項について協議し、事業を運営する。

(事務局)

第18条 当分の間、事務局を山形市のごみ減量を担当する課に置く。

(委任)

第19条 この規約に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、役員会において別に定める。

附 則

1 この規約は、平成18年12月16日から施行する。

2 この会の設立当初の役員の任期は、第9条1項の規定にかかわらず、成立の日から平成20年総会の日までとする。

3 この規約は、平成21年5月30日から施行する。

4 この規約は、平成22年5月30日から施行する。

市民の皆さんのご協力で ごみの減量が進んでいます！

～「家庭系ごみの有料化」実施から1年～

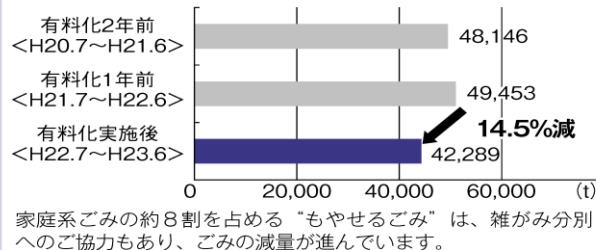
昨年7月から実施した「家庭系ごみの有料化」以降、家庭から出されたごみの量は減っています。市民の皆さんに、“ごみを出さない”意識が浸透している成果です。ご協力ありがとうございました。引き続きごみ減量へのご理解とご協力をお願いします。

(問)ごみ減量推進課 (内)内線686

有料化1年前との比較 18.9%の減量

有料化実施後（平成22年7月～平成23年6月）の家庭系ごみの総量は、前年同時期（平成21年7月～平成22年6月）比較で18.9%（11,798 t）減少、前々年同時期（平成20年7月～平成21年6月）比較で13.3%（7,766 t）減少しています。

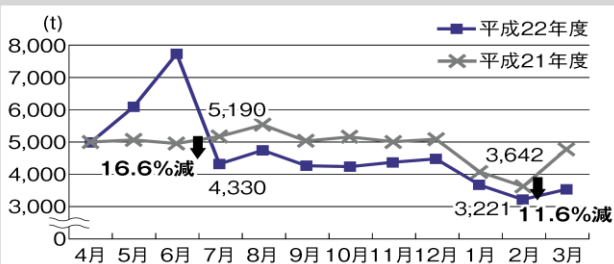
もやせるごみの量



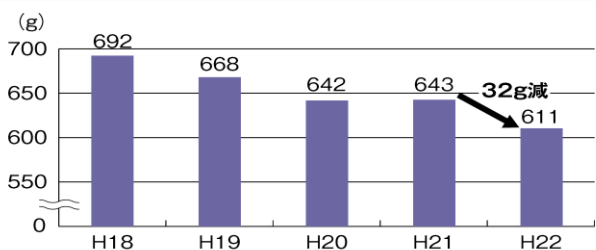
前年同月比較で 10%以上の減量を維持

有料化実施の昨年7月以降、各月の家庭系ごみ（“もやせるごみ”と“もやせないごみ”の合計）は継続して10%以上のごみの減量（前年同月比較）となっています。

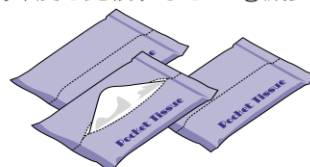
家庭系ごみの量(月別)



市民1人1日当たりの家庭系ごみの量



平成22年度の市民1人1日当たりの家庭系ごみの量は、前年度と比較すると32g減少しています。



市民全員が毎日、ポケットティッシュ約3個分を減量していることになります。

ごみを減らすには、一人一人の心掛けが大切です。面倒でも、ひと手間かけることがごみ減量につながります。今後とも、ごみの減量と資源化にご協力をお願いします。

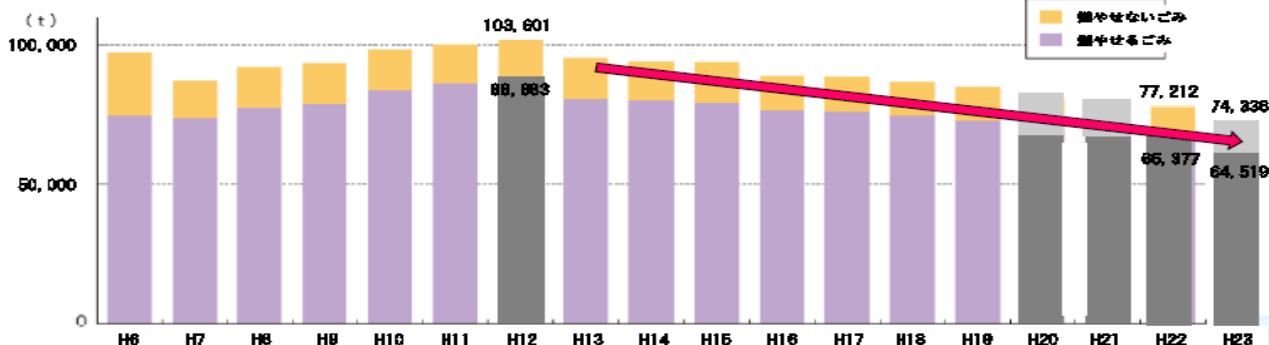


減量すすむくん

■ H6年度～H22年度

年度別ごみの量(家庭系+事業系)の推移(グラフ5)

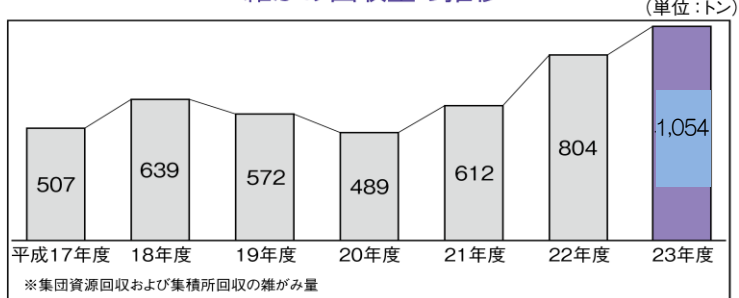
年度別ごみの量の推移を見ると、平成12年度以降は、毎年着実にごみは減っています。ピーク時の平成12年度から平成23年度までに、実に28.2%もの減少になっています。



H23年度のごみの量→さらに前年比で3.7%の減量！！
ピーク時からの累計では、28.2%ものごみが減っています。

雑がみ回収量 1,000トンを超える !!

雑がみ回収量の推移



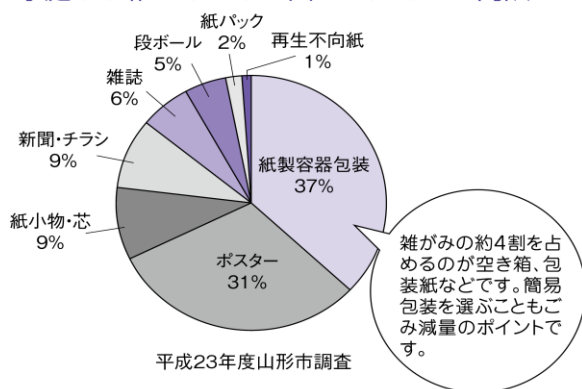
雑がみ組成分析 (山形市調査)

家庭から出された雑がみの内訳を調査したところ、リサイクル可能なものは99%と高く、各家庭での正しい分別が進み品質の高い雑がみ回収ができています。

なお、雑がみは、紙手提げ袋やご家庭に余っている新聞回収袋に入れて出してください。

昨年、各ご家庭に配布した雑がみ回収袋も、ぜひご活用ください。

家庭から雑がみとして出されたものの内訳



平成17年から開始した雑がみ回収は、皆様のご協力により、平成23年度の回収量が初めて当初目標の1,000トンの大台を超えました。

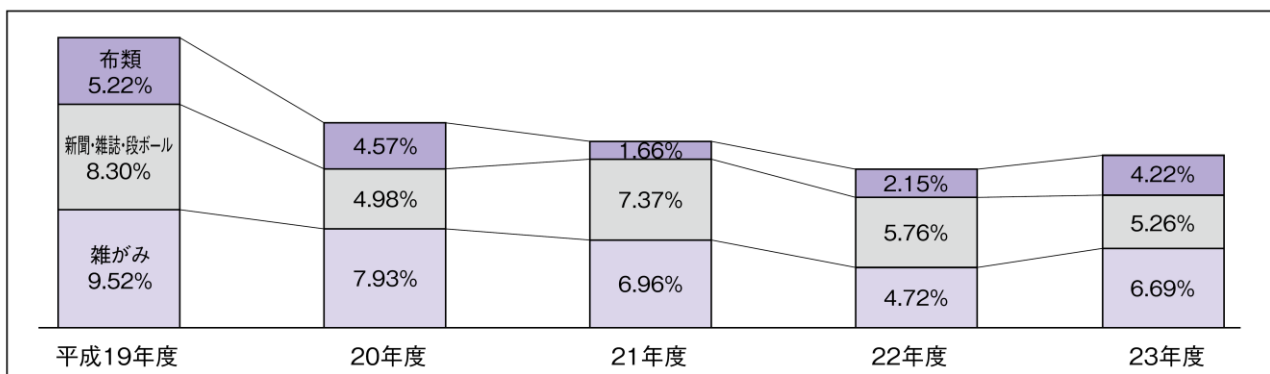
また、もやせるごみに含まれる資源物の推移を見ても、雑がみは減少傾向にあり、雑がみ分別が着実に進んでいることが分かります。



ご注意ください

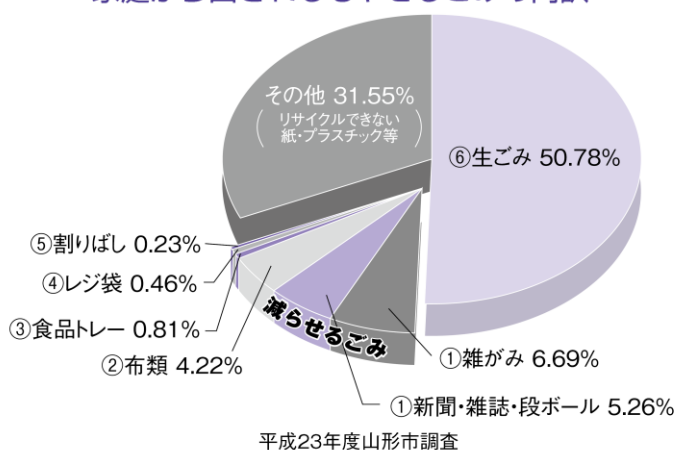
- ①雑がみには、新聞、雑誌、段ボールを混ぜないでください。それぞれ違う用途の紙に再生されますので、紙資源を有効活用するため、正しい分別をお願いします。
- ②新聞折り込みチラシは雑がみに出さないでください。良質な紙資源としてリサイクルされますので、新聞と一緒に束にして出してください。

もやせるごみに含まれる資源物の推移



家庭から出されるもやせるごみの内訳

家庭系もやせるごみ組成分析 (山形市調査)



でも・・・
もやせるごみの中には、まだまだ
“もったいない” がいっぱい！

ごみの減量・資源化は順調に進んでいます
が、もやせるごみにはまだ資源化できるもの
や減らせるものが多く含まれています。

「もったいない」を合言葉に、捨てる前に
もう一度考えましょう。

情報交換

テーマ：「震災復興から見た，自動車リサイクルについて」

～震災から一年，活きた！環境の取組み～

講師：NPO 法人山形県自動車公益センター 専務理事

すがわら ひろき
菅原 弘紀さん

memo